

令和6年2月8日
京都市文化市民局
文化芸術都市推進室
文化芸術企画課 TEL:075-222-3119

京都市芸術文化特別奨励制度 令和6年度奨励者の決定及び認定式の開催

京都市では、文化芸術都市・京都の新たな担い手の育成を目的として、「京都市芸術文化特別奨励制度」を平成12年度に設け、活動経費に対する奨励金（300万円）を交付し、若手芸術家の飛躍に向けた活動を支援する取組を行っています。

この度、令和6年度奨励者が決まり、認定式を行います。

1 令和6年度京都市芸術文化特別奨励者

中川 裕貴（なかがわ ゆうき）【チェロ奏者】

【経歴】

1986年生まれ、三重／京都在住。

同志社大学工学部情報システム学科卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。作曲、演奏、演出を主にチェロを使用して行う。チェロを演奏し広い意味での「声」をその楽器から引き出すこと、またチェロに物理的に打撃を与える打楽器的演奏や自作の弓を使用した特殊奏法など駆使し、それらの音から時間の上に様々な「状況」を創り出す。

【主な活動歴】

コンサート「アウト、セーフ、フレーム」(ロームシアター京都サウスホール)

サウンドインスタレーション「Autoplay and Autopsy」(UrBANGUILD)

日野浩志郎氏とのユニット「KAKUHAN」初の単独公演「musica s/tirring」(京都芸術センター)

音楽フェスティバル「Rewire」出演 (オランダ)



2 認定式の開催

(1) 日時

令和6年2月15日（木）午前11時～11時45分

(2) 会場

京都市役所本庁舎4階 正庁の間

(3) 出席予定者(敬称略)

- ・ 奨励者 中川 裕貴
- ・ 来賓 建畠 哲 京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会 委員長
- ・ 京都市 門川 大作 京都市長
- 砂川 敬 京都市文化芸術政策監

(4) 内容

認定書授与、来賓・市長挨拶、懇談等

3 京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会 講評

今年度の応募は 64 件で、専門委員会での書類審査を経て選出された 6 名を対象に、審査委員会でプレゼンテーション審査を行った。本奨励制度は、「将来特に有望と認められるものに対して、積極的な芸術文化活動を促すための奨励金を支給」するものであり、すでに実績があることよりも、将来性という点に重点が置かれていることが特徴だ。未知のものに対する期待と信頼はこの制度の大きな特色であり、行政が行う施策としては全国的にも例がないものとなっている。開始から 20 数年を経て、これまでの奨励者の活躍を見れば、京都の芸術文化の振興に少なからず貢献していることが見て取れるだろう。

今回プレゼンテーションを行った 6 名の申請者は、独自の手法を模索し、実直に活動を継続している方たちが多い印象だった。必ずしも上手な説明が必要ではない。このプレゼンテーションは、申請者本人の人となりを知り、次のステップが十分な可能性を感じさせるか否かを判断するため場であり、事実、これを機会に大きく飛躍した人材を輩出しえてきたのである。

今回、審査員の中でも意見が分かれる場面も多かったが、議論を尽くして、令和 6 年度の奨励者として中川裕貴氏を選出した。

中川裕貴氏は、チェロを使った独自の奏法を編み出し、伝統的なチェロ演奏とは異なる「声」を生み出している。同氏の表現活動の主要な軸であるユニット『KAKUHAN』では国外でのコンサートを実現させ、まさに活動を本格化させつつある。パフォーミングアーツ自体の可能性を拡張しようとする多角的な共同作業はどれも充実しており、今後さらなる飛躍が大いに期待できる。

審査委員長 建畠哲

4 令和 5 年度 京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会委員（敬称略）

◎委員長 50 音順

氏名	役職等
赤松 玉女	京都市立芸術大学 学長
小崎 哲哉	文筆家、アートプロデューサー
亀岡 典子	産経新聞大阪本社編集局文化部 特別客員記者
小谷 眞由美	株式会社ユーシン精機名誉会長
砂川 敬	京都市文化芸術政策監
高畠 整子	音楽プロデューサー、ライター
◎ 建畠 哲	京都芸術センター 館長
福本 潮子	美術家
松下 悦子	同志社女子大学学芸学部音楽学科 教授
森山 直人	多摩美術大学美術学部演劇舞踊デザイン学科 教授

5 令和 6 年度奨励者に係る申請件数について

申請件数 64 件

(1) 分野別

分野	件数 (昨年)
舞台	16 (11)
音楽	22 (15)
造形	37 (25)

※ 分野が重複している申請があるため合計数は申請件数と一致しない。

(2) 年代別

分野	件数 (昨年)
10代	1 (0)
20代	13 (11)
30代	32 (28)
40代	11 (6)
50代以上	6 (2)
計	63 (47)

※ 最年少 19 歳、最高齢 60 歳